

道

2022・5・18

通信 No 1683



セイヨウノダイコン

《本日の練習》 清水先生 小坂先生

・群青 ・森へ行きましょう（大地讃頌 アメージング・グレース）

《次回5月25日》 小坂先生 二宮先生 吉野町市民プラザホール

・シチェドリク ・バンドウーラを手に入れば（キエフの鳥の歌 森はざわめく）

「鶴」に寄せて

アルト1 麻生千昌

20年程前、この歌を初めて聴きました。『激しい戦いの日も 空に群れて飛ぶ 美しい鶴の群れ あなたは そこに居る』胸が一杯になり涙がとめどなく流れました。地上では砲弾が飛び交い、家が壊され、子どもが殺され、...

しかし、鶴が飛んでいるところまで、砲弾は飛んでこない。戦争が決して届かないところ、平和の中にあなたは居る。この歌の、平和を求める強い思いに涙したのでしょうか。

「道」で歌う事になり、この歌が広島で生まれたことを知りました。先の戦争で最も悲惨な目にあった街、一瞬のうちに全てを奪いつくされた街、同じ思いを二度と人類に味わってほしくない願い行動する街。殺された人々の思いはいかばかりか。想像を絶します。

80代の友人が語ってくれました。6歳の頃彼女は千葉県の農村で暮らしていました。近くの畑に米軍の戦闘機が不時着したとの報に、皆が駆け付けたそうです。飛行機からよろよろと降りてきた兵士に、罵倒が浴びせられ石が投げつけられる中で隣にいた母親が『あの人にもお母さんがいるでしょうに、...』とつぶやいたそうです。私はこの話を聞いたとき、とても感動しました。

イラクでも、アフガニスタンでも、ウクライナでも戦争が始まった時、テレビの画面や紙面からはみ出さんばかりの人々が『戦争ヤメロ』と行進しました。世界中の人々がこんなに反対しているのだから、戦争はすぐに終わるだろうと思っていました。しかしウクライナでは、もう2か月半も続いています。

戦争は始まったら最後、全てを奪いつくすまで終わらないのでしょうか。道端の小さな花を愛でたり、おいしい熱いコーヒーを飲んだり、誰かを愛したり、...全ての日常生活を根こそぎ奪いつくすまで終わらないのでしょうか。

人類は、絶対に、戦争を始めてはいけません。

《バス懇談会》 6月 1日（水） 3時30分～4時50分 県民サポートセンター705号
《運営委員会》 6月 8日（水） 3時00分～5時00分 県民サポートセンター708号